

# 製品安全データシート

会社名 テクノエコー株式会社  
住所 埼玉県入間市寺竹523-3  
TEL 04-2937-1061 FAX 04-2936-5231  
担当部門 製造部 担当者 本田  
緊急連絡先 TEL 04-2937-1061  
作成年月 平成21年6月17日

整理番号 CA0003

---

---

製品名 試薬C よう化カリウム

---

---

## 物質特定

単一製品・混合物の区別：単一製品  
化学名：よう化カリウム  
成分及び含有量：99.5%  
化学式又は構造式：KI  
化審法番号：既存化学物質番号 1-439  
CAS No.：7681-11-0

---

## 危険有害性の分類

分類の名称：危険有害性分類基準に該当しない

### 危険性

- ・不燃性
- ・熱時分解してK<sub>2</sub>OとI<sup>-</sup>の非常に有害なガスを発生する
- ・強還元剤、強酸との接触、日光、湿った空気への暴露を避ける
- ・スチール、アルミニウム、アルカリ金属、真鍮、マグネシウム、亜鉛、カドミウム、銅、錫、ニッケルとその合金との接触を避ける

### 有害性

- ・静脈内投与により毒性を示す
  - ・経口摂取、腹腔内投与により中程度の毒性を示す
  - ・医薬品（よう素）として使用された場合の副作用でヨード中毒等の報告がある
  - ・突然変異原性のデータがある
- 

## 応急措置

### 目に入った場合

- ・直ちに清浄な流水で15分以上洗い流し、速やかに医師の手当を受ける

### 皮膚に付着した場合

- ・直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる
- ・直ちに付着した部分を石けんを用いて洗浄し、多量の水で洗い流す
- ・よう素色が出ているときは、チオ硫酸ナトリウム水溶液で洗い、十分水洗いする

### 吸入した場合

- ・粉末を吸入した場合は、温水で嗽をする。
  - ・速やかに医師の手当を受ける
- 

## 火災時の措置

消火方法：本品不燃性

- ・周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す
- ・移動不可能の場合には容器の周囲に散水して冷却する
- ・火災時の熱により分解して、有毒なよう素を放出するので、保護具を着用し風上から作業を行う

消火剤：大量の水

---

## 漏洩時の措置

漏洩したものは、直ちにほうき等で掃き集め空容器に回収し、後を水で十分洗浄す

る。回収に使用したほうき、ブラシ等はよく水洗いしておく

---

## 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣服に触れないようにすること

### 保管

- ・遮光容器に密閉し、冷暗所に保管する
- ・直射日光、湿った空気の場合は厳禁

---

## 暴露防止措置

管理濃度：設定されていない

許容濃度：（参考）よう素として 日本産業衛生学会：0.1ppm、1mg/m<sup>3</sup>  
ACGIH：0.1ppm、1mg/m<sup>3</sup>（天井値）

設備対策：取扱場所の近くに洗顔、洗浄を行うための設備を設置する  
自然排気または強制排出装置により汚染空気を室外に排除する

保護具：必要に応じ、防塵マスク又は送気マスク、保護眼鏡、不浸透性保護手袋等を使用する

---

## 物理／化学的性質

外観等：無色もしくは白色の結晶性又は結晶性粉末、乾燥空気中では安定であるが湿った空気中では僅かに潮解する

比重：3.13

融点：723℃

沸点：1330℃

蒸気圧：1 mmHg/745℃

溶解度：水に易溶

---

## 危険性情報

発火点：なし

可燃性：なし

安定性/反応性：

- ・潮解性がある
- ・空気に触れるとよう素を遊離して黄色に変わる
- ・光と水分があると分解が早い
- ・水に溶解する時著しく吸熱する

---

## 有害性情報

### 皮膚腐食性

- ・皮膚接触、よう素を遊離して皮膚を黄変するが、短時間で回復する

### 皮膚刺激性

- ・接触すると皮膚、目を刺激する

### 感作性

- ・発疹等の過敏症の報告がある

### 急性中毒

- ・静注 ラット LD50 285mg/Kg
- ・静脈 ラット LDLo 120mg/kg
- ・経口 マウス LD50 1862mg/Kg

### 亜急性毒性

- ・医薬品としてよう素剤として使用された場合の副作用でヨード中毒の報告がある

### 慢性毒性

- ・よう素中毒の症状が現れることがある

がん原性 知見無し

変異原性 突然変異原性のデータが報告されている

生殖毒性 知見無し

催奇形性 知見無し

---

環境影響情報 知見無し

**廃棄上の注意** 少量の場合は多量の水で希釈し排水する。

---

**輸送上の注意** 容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃、転倒、落下破損の内容に積込み、荷くずれ防止を確実にし、輸送中は直射日光を避ける。

---

**適用法規**

薬事法：第44条（施行規則52条）劇薬  
第29条（施行規則36条）指定医薬品  
安衛法：該当しない。  
毒物および劇物取締法：該当しない。  
PRTR法：該当しない。

---

**その他**

**引用文献等**

THE MERCK INDEX ED.12  
化学大事典（共立出版）  
化学物質の危険・有害便覧（中央労働災害防止協会）  
J I Sハンドブック 試薬（日本規格協会）  
化学薬品の混触危険ハンドブック（日刊工業新聞社）

---

以上に記載された情報は、最善の調査に基づいて作成していますが、記載のデータは必ずしも安全性を保証するものではありません。  
全ての化学品には未知の有害性があり得るために、取扱には充分注意してください。

---